



とねりこ

令和2年5月25日発行
学校だより 第2号
射水市立片口小学校
TEL 86-1393
E-mail:kataguti@tym.ed.jp

臨時休業中は、たびたびの対応の変更にも関わらず、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。また、保護者の皆様には、お子さんの毎日の学習や規則正しい生活、心の安定にご配慮いただくとともに、課題配布や電話連絡等には、お忙しい中、ご対応をいただき感謝申し上げます。

そんな中、18日から分散登校が始まりました。片口地区をAグループ、高場地区、久々江地区をBグループとして交互に登校しています。初めての分散登校の日には、久しぶりの集団登校でしたが、リーダーを先頭にしっかり列をつくり歩いてきました。子供たちの元気な挨拶がとてもうれしかったです。学級では、健康観察から始まり、学校生活での約束を確認したり、国語や算数の学習をしたり、畑の様子を見に行ったり、グラウンドを走ってみたりと、久しぶりの学校での時間を過ごしました。少しずつ、学校生活のリズムを取り戻していったほしいと思います。

本格的な授業再開に向け、子供たちの安全確保を最優先に考え、感染防止の対応に教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。今後とも、ご理解とご支援をよろしく願っています。



片口っ子の合言葉「まえむき」に

学校でも、3密を避けるために、これまで通りにはいかなないことが多くなっています。

それでも、マスク越しに話す子供たちのにこやかな姿から、みんなと一緒に過ごすことよさや楽しさを感じていることがうかがえます。

学校では、手洗いや換気、机いすや子供たちが使う場所の消毒等できることをしっかりと行い、感染を防いでいきます。

子供たちが慣れ親しんでいる片口っ子の合言葉「あたり(ま)え」の中に「(ま)えむき」とあります。今だからこそ、いつも通りではないことを嘆くだけではなく、前向きに考えて物事に取り組んでいきたいと考えています。子供たちが命と健康を守るための約束を基に、どう行動したらよいかを考えることのできる「たくましく生きぬく力」を身に付けていくことができるように取り組んでいきたいと考えています。



距離をとって並ぶ図書室

地域の方々の協力を得て ～ 5年生 米づくり体験 ～

今年度も、5年生は総合的な学習の時間に米づくり体験に取り組みます。例年ならば、5月中に田植えの体験をさせていただくのですが、今年はそれができません。そこで、休業中の5月11日(月)、学校のプール横の田んぼに、地域の土田さんが田植えをしてくださいました。その後、分散登校の間に土田さんから教えていただきながら苗を植えました。数本だけでしたが、全員が田んぼに手を入れ、土の感触を味わうことができました。



米づくりについて知り、現代の米づくりの課題について考えるために、稲の成長とともに学習を深めていってくれるものと期待しています。

地域の皆さまのお力添えをいただいて、**たくましさ**の支えとなる「ふるさと射水を愛する心」を育む体験学習ができることに感謝の気持ちでいっぱいです。